

## ITを活用した自然愛好者の交流の場づくりの実践

今給黎靖夫・清水孝之（神戸いきもの会議）

### はじめに

「きれいな花を見つけたけれど名前が分からない？身近に植物に詳しい人がいたら直ぐに教えてもらえるのにな〜」と、植物に限らず、昆虫や野鳥など、自然に関する知りたいことや疑問を抱えている人は多いことでしょう。そんな皆さんを手助けするパートナーを「神戸いきもの会議」は目指しています。当会は昨年9月に設立したばかりの会ですが、植物を始め、野鳥、昆虫、魚類など幅広い分野に詳しいスタッフが集まり、会員や市民の皆さんの自然に関する多様なニーズにお応えしています。さらに、「自然を愛するみんなの井戸端会議」をキャッチフレーズに、素早く、気軽に、そして幅広く自然情報を伝え、交流する場として、ITの幅広い活用の仕方を探求しています。

### 本会の目指すもの

植物、野鳥、昆虫など、特定の生物を対象とした愛好者の集まりはすでに数多くありますが、分野の枠を越え、あらゆる生物や自然に興味のある人を対象とした集まりは数少ないのが現状でしょう。ある一つの分野を深く追求することはもちろん大切なことですが、さらなる進展には、自然に関する知識を広く吸収することが不可欠です。様々な分野の愛好者が一つに結集することで、初心者においては自然についての知識の習得はもちろんのこと、楽しみ方や接し方の手法を学び、その奥深さを知ることができるでしょう。また、ベテランにとっても、多くの同好の士との交流を通じ、専門分野の情報や知識が益々集積され、ホットな話題を見聞きすることで活動の励ましを得る場になるでしょう。

子供から大人まで、初心者からベテランまで、様々な人が生物と自然という共通の興味で集うことにより、自然についての知識をお互いに深め合い、さらには身近な自然の現状をより正しく知り記録する活動を推進します。

### 本年度の活動実績

本会の活動の拠点としてHPの開設と充実を進めました。生物愛好者にとって種の名前を正しく知ることが全ての基本という観点から、会員が個人的に構築している植物、野鳥、昆虫、淡水魚類などの種名検索サイトを結集して、初心者が和名や画像で調べられる生物の検索サイトを作りました。同様の趣旨で、自然情報をアップできる画像掲示板を設置しました。投稿された画像や記事について、専門のスタッフがコメントや質問等にお答えする体制を整えました。その他HPでは、会主催の観察会、調査会の案内と募集の情報を発信しています。

野外の活動では、昨年の晩秋に植物観察会を、昆虫類・クモ類の調査会を昨年の秋と冬に2回実施しました。観察会の記録はブログに公開し、調査会の記録は確認種の種リストや注目される種の画像とともにレポートをHPで公開しました。

さらに、会誌の創刊号を秋に発行しました。各分野で活動を続ける会員により、各人の現地調査による貴重な記録や初心者からベテランまで楽しめる記事で構成される電子版の会誌です。



神戸いきもの会議

目次	1
巻頭 今 野鳥	2
山行報告 びんがたの自然観察会(後編) 宮内 浩太郎	3
山行報告 高尾山 第一編 宮内浩太郎、山内正	4
山行報告 高尾山 第二編 宮内浩太郎、山内正	5
山行報告 高尾山 第三編 宮内浩太郎、山内正	6
山行報告 高尾山 第四編 宮内浩太郎、山内正	7
山行報告 高尾山 第五編 宮内浩太郎、山内正	8
山行報告 高尾山 第六編 宮内浩太郎、山内正	9
山行報告 高尾山 第七編 宮内浩太郎、山内正	10
山行報告 高尾山 第八編 宮内浩太郎、山内正	11
山行報告 高尾山 第九編 宮内浩太郎、山内正	12
山行報告 高尾山 第十編 宮内浩太郎、山内正	13
山行報告 高尾山 第十一編 宮内浩太郎、山内正	14
山行報告 高尾山 第十二編 宮内浩太郎、山内正	15
山行報告 高尾山 第十三編 宮内浩太郎、山内正	16
山行報告 高尾山 第十四編 宮内浩太郎、山内正	17
山行報告 高尾山 第十五編 宮内浩太郎、山内正	18
山行報告 高尾山 第十六編 宮内浩太郎、山内正	19
山行報告 高尾山 第十七編 宮内浩太郎、山内正	20
山行報告 高尾山 第十八編 宮内浩太郎、山内正	21
山行報告 高尾山 第十九編 宮内浩太郎、山内正	22
山行報告 高尾山 第二十編 宮内浩太郎、山内正	23
山行報告 高尾山 第二十一編 宮内浩太郎、山内正	24
山行報告 高尾山 第二十二編 宮内浩太郎、山内正	25
山行報告 高尾山 第二十三編 宮内浩太郎、山内正	26
山行報告 高尾山 第二十四編 宮内浩太郎、山内正	27
山行報告 高尾山 第二十五編 宮内浩太郎、山内正	28
山行報告 高尾山 第二十六編 宮内浩太郎、山内正	29
山行報告 高尾山 第二十七編 宮内浩太郎、山内正	30
山行報告 高尾山 第二十八編 宮内浩太郎、山内正	31
山行報告 高尾山 第二十九編 宮内浩太郎、山内正	32
山行報告 高尾山 第三十編 宮内浩太郎、山内正	33
山行報告 高尾山 第三十一編 宮内浩太郎、山内正	34
山行報告 高尾山 第三十二編 宮内浩太郎、山内正	35
山行報告 高尾山 第三十三編 宮内浩太郎、山内正	36
山行報告 高尾山 第三十四編 宮内浩太郎、山内正	37
山行報告 高尾山 第三十五編 宮内浩太郎、山内正	38
山行報告 高尾山 第三十六編 宮内浩太郎、山内正	39
山行報告 高尾山 第三十七編 宮内浩太郎、山内正	40
山行報告 高尾山 第三十八編 宮内浩太郎、山内正	41
山行報告 高尾山 第三十九編 宮内浩太郎、山内正	42
山行報告 高尾山 第四十編 宮内浩太郎、山内正	43
山行報告 高尾山 第四十一編 宮内浩太郎、山内正	44
山行報告 高尾山 第四十二編 宮内浩太郎、山内正	45
山行報告 高尾山 第四十三編 宮内浩太郎、山内正	46
山行報告 高尾山 第四十四編 宮内浩太郎、山内正	47
山行報告 高尾山 第四十五編 宮内浩太郎、山内正	48
山行報告 高尾山 第四十六編 宮内浩太郎、山内正	49
山行報告 高尾山 第四十七編 宮内浩太郎、山内正	50
山行報告 高尾山 第四十八編 宮内浩太郎、山内正	51
山行報告 高尾山 第四十九編 宮内浩太郎、山内正	52
山行報告 高尾山 第五十編 宮内浩太郎、山内正	53
山行報告 高尾山 第五十一編 宮内浩太郎、山内正	54
山行報告 高尾山 第五十二編 宮内浩太郎、山内正	55
山行報告 高尾山 第五十三編 宮内浩太郎、山内正	56
山行報告 高尾山 第五十四編 宮内浩太郎、山内正	57
山行報告 高尾山 第五十五編 宮内浩太郎、山内正	58
山行報告 高尾山 第五十六編 宮内浩太郎、山内正	59
山行報告 高尾山 第五十七編 宮内浩太郎、山内正	60
山行報告 高尾山 第五十八編 宮内浩太郎、山内正	61
山行報告 高尾山 第五十九編 宮内浩太郎、山内正	62
山行報告 高尾山 第六十編 宮内浩太郎、山内正	63
山行報告 高尾山 第六十一編 宮内浩太郎、山内正	64
山行報告 高尾山 第六十二編 宮内浩太郎、山内正	65
山行報告 高尾山 第六十三編 宮内浩太郎、山内正	66
山行報告 高尾山 第六十四編 宮内浩太郎、山内正	67
山行報告 高尾山 第六十五編 宮内浩太郎、山内正	68
山行報告 高尾山 第六十六編 宮内浩太郎、山内正	69
山行報告 高尾山 第六十七編 宮内浩太郎、山内正	70
山行報告 高尾山 第六十八編 宮内浩太郎、山内正	71
山行報告 高尾山 第六十九編 宮内浩太郎、山内正	72
山行報告 高尾山 第七十編 宮内浩太郎、山内正	73
山行報告 高尾山 第七十一編 宮内浩太郎、山内正	74
山行報告 高尾山 第七十二編 宮内浩太郎、山内正	75
山行報告 高尾山 第七十三編 宮内浩太郎、山内正	76
山行報告 高尾山 第七十四編 宮内浩太郎、山内正	77
山行報告 高尾山 第七十五編 宮内浩太郎、山内正	78
山行報告 高尾山 第七十六編 宮内浩太郎、山内正	79
山行報告 高尾山 第七十七編 宮内浩太郎、山内正	80
山行報告 高尾山 第七十八編 宮内浩太郎、山内正	81
山行報告 高尾山 第七十九編 宮内浩太郎、山内正	82
山行報告 高尾山 第八十編 宮内浩太郎、山内正	83
山行報告 高尾山 第八十一編 宮内浩太郎、山内正	84
山行報告 高尾山 第八十二編 宮内浩太郎、山内正	85
山行報告 高尾山 第八十三編 宮内浩太郎、山内正	86
山行報告 高尾山 第八十四編 宮内浩太郎、山内正	87
山行報告 高尾山 第八十五編 宮内浩太郎、山内正	88
山行報告 高尾山 第八十六編 宮内浩太郎、山内正	89
山行報告 高尾山 第八十七編 宮内浩太郎、山内正	90
山行報告 高尾山 第八十八編 宮内浩太郎、山内正	91
山行報告 高尾山 第八十九編 宮内浩太郎、山内正	92
山行報告 高尾山 第九十編 宮内浩太郎、山内正	93
山行報告 高尾山 第九十一編 宮内浩太郎、山内正	94
山行報告 高尾山 第九十二編 宮内浩太郎、山内正	95
山行報告 高尾山 第九十三編 宮内浩太郎、山内正	96
山行報告 高尾山 第九十四編 宮内浩太郎、山内正	97
山行報告 高尾山 第九十五編 宮内浩太郎、山内正	98
山行報告 高尾山 第九十六編 宮内浩太郎、山内正	99
山行報告 高尾山 第九十七編 宮内浩太郎、山内正	100

### これからの活動目標

神戸を拠点に全国の自然を愛する人のインターネットを活用した交流広場のさらなる広がりと発展を目指します。観察会や調査会の活動で得られた資料を基に、郷土に生息・生育する生物の現況を把握し、その生物資源としての活用、保全保護活動などに一層寄与することを目標に、活動の充実を図ります。